

1. 平成 24 年度外部評価 開催概要

(1)開催日時：平成 25 年 3 月 15 日（金）午後 4 時～午後 5 時 30 分

(2)場所：ダイワロイネットホテル和歌山

(3)外部評価委員（◎は委員長、○は副委員長）

氏名役職等

◎請川孝治 和歌山県工業技術センター 所長

○河田照雄 京都大学大学院農学研究科 教授

五十部誠一郎 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
食品総合研究所 食品工学研究領域長

加野浩之 株式会社日本政策金融公庫 和歌山支店長

山田正彦 (株)カネカ フロンティアバイオ・メディカル研究所
研究テーマ企画室 上席幹部 高度専門研究者

(4)趣旨

平成 24 年から 5 年間で実施する地域イノベーション戦略支援プログラム事業の概要と活動内容、5 年後の目指す目標に対して、外部評価委員により評価を実施し、プロジェクトの実行に反映させる。

(5)事業概要説明

(6)評価項目

(7)配付資料

外部評価委員会設置要綱、外部評価委員会実施要領、事業パンフレット（概要説明資料）、基本計画書、H24 年度年度計画書、H25 年度年度計画、地域イノベーション戦略（Power Point）、主な研究開発テーマのロードマップ（Power Point）、文科省 審査委員、フォローアップ評価コメント一覧、平成 24 年度地域イノベーション戦略支援プログラムパンフレット

2. 評価結果及びコメントへの対応策

事業概要及び計画案に対して、質疑応答を行い、委員からの意見をコメントとして、後日集約した。それぞれのコメントに対する対応策をプロジェクトで作成し、プロジェクトより提出されたものを外部評価委員が了承した。

なお、コメント対応策は、下記のとおり。

委員	コメント	対応
A 委員	1) 事業終了後の達成地点のイメージ、その具体的な方向性とその目標を設定するこ	1) 事業開始 5 年後の目指す姿（到達点）について、平成 25 年度中に提示し、その具体的な道順を示します。平成 26 年度外部評価委員会

	<p>と。(5年後、10年後の姿を明確にしてください。</p> <p>2) フルーツバレーと健康イノベーションセンターのイメージとそれらをどのように構築するのか。</p> <p>3) 地域負担によるプロジェクト活動費の考え方と関係企業、支援機関との連携強化をどうするのか。</p>	<p>にて具体的な道筋と経過報告をさせていただきます。</p> <p>2) フルーツバレーと健康イノベーションセンターに関しては、この事業の目指すビジョンとして示しています。そのため、その姿やその構築に向けての手段は、今後、プロジェクトの中で明確化していきます。</p> <p>3) 地域負担によるプロジェクトの活動費は、基本的には提案公募型予算獲得に委ねることになります。農産物有用化合物活用研究会で研究部会化(コンソーシアム形成)されたテーマを中心に、地域負担の公募予算獲得に関係機関との連携により提案していきます。このシステムを作ることにより、企業の主体性や開発する製品群の明確化が図れるものと考えています。</p>
B 委員	<p>1) 招聘研究員の研究課題設定、その進め方など疑問な部分があると思われるが、プロジェクト推進と招聘研究員の活動成果の関係について具体的にしてください。招聘研究員への指導等はどう進めるのか。</p> <p>2) 和歌山は果物生産は多いと言われるが、県内での消費はどの程度か?それと健康との関係を明確にすべきでないか。</p>	<p>1) 招聘研究員の活動は、プロジェクト推進の重要なポイントで、その活動把握や開発方向に関することは、医農連携CDが主に担当し、その把握のために研究進捗会議を実行しています。特に、平成25年度は、招聘研究員の活動把握を積極的に進めます。</p> <p>研究員の指導に関しては、外部評価委員会での評価項目とすることで外部からの意見の導入を進めたいと考えています。</p> <p>2) 果樹の県内消費については、地場流通データ等調査したいと考えます。また、健康との関係性については、和医大の地域健康コホート研究等に取り入れることを検討していきます。</p>
C 委員	<p>1) 企業との連携を行う研究会を発足したとなっているが、機能性などに関しての医学的なエビデンスを活かす目</p>	<p>1) 現在、参画して頂いている企業は、農産物加工業だけでなく農産物から機能成分を抽出する素材企業や化学系企業など幅広く参画しています。</p>

	<p>的で農産物加工を行うことができる企業が加入しているのか。</p> <p>2) 健康食品開発をエビデンスから設計調整し、開発するとあるが、人材育成プログラムの遂行との関係で時系列的につなげることができるのか。</p> <p>3) 和歌山は過去から柑橘の加工など顕著な成果があるが、それらとつなげる努力はされないのか。また和歌山県での多くの活動内容が、マスコミ等で報じられているが、それらとプロジェクトとの関係はどうなっているのか。</p>	<p>2) 人材育成プログラムの実行に、これから開発する機能性食品が活かせるスケジュールになっているかという指摘と承りました。現段階では、すでに県内企業で開発された健康食品を用いて、運動と健康、食と健康面から健康推進を支える人材育成プログラムの開発に適用しながら進めています。機能性食品の開発が人材育成プログラム開発の制約条件にはならないため、開発された商品は適宜導入していきます。</p> <p>3) 過去から地域技術として積み上げてきた食品加工技術の水平展開は今後も継続的に行っていきます。また、マスコミ等を通じた消費者への情報発信は、これまでは主に個別発信であり、今後県の食品流通課等と連携を図り統合的、戦略的なマーケティング展開が重要であり、26年度に取り組む課題の一つとして位置づけています。</p>
D 委員	<p>1) 産業育成と人材育成の双方を進めるとあるが、少し分散すぎでそのようなことが可能なのか。</p> <p>2) 中小企業は連携しながら進めることが難しい状況にあるが、それをどのように克服するのか。可能性のある企業は存在するのか。効能があるから製品化しろと言われてもそこへ踏み込む企業をどのように育成や連携をはかっていくのかが見えてこない。</p>	<p>1) ビジョンの一つが県民健康力の向上であり、健康を維持する仕組みの創出は、開発した健康食品を活かせるライフスタイルの定着とモノづくりイノベーションとの両輪で取り組むことが必要と考えています。今年度、この仕組み（フレーム）を構築することを目指しています。</p> <p>2) 農産物有用化合物活用研究会ではシーズとニーズを中心に情報の共有化を図り、事業化が芽生えたテーマについては研究部会として主管会社を中心に助成金獲得等の捻出を含め、事業化に支援の集中を図っていきます。</p>

<p>E 委 員</p>	<p>1) 産業育成の具体的なイメージがつかめない。一概に健康産業と言っても具体性がない。健康食品として何を想定しているのか。どのような健康産業をどのような手段で構築していくのか。</p> <p>2) 「食」、「運動」の重要性を知らしめる活動を通じて、県民健康力の向上を目指し、開発した健康食品を県内外市場に拡大することで新たな産業育成を実現させる狙いと理解してよろしいか。</p> <p>3) 梅酢ポリフェノールに関するロードマップには、骨そしょう症への効果の検討が記載されているが、これに期待するのですが如何ですか。</p>	<p>1) 特保的商品ばかりを狙っている訳で無く、物性或いは食感等の機能性を高めた明らか商品の高付加価値化も狙っています。今年度中に実用化させる健康食品について具体的な事例を示せるようにします。その上で、産業育成の道順として、6次産業化に向けたファンドなどの検討も行いたいと考えています。また、人材育成プログラムの関する元気シニア社会の創出に関連する健康産業は、医療サービス、健康運動、健康食などへの雇用拡大等を考えている。さらに、この活動により医療費低減による効果も考えられます。</p> <p>2) 人材育成プログラムの実行により、健康維持のために「食」、「運動」の重要性を啓蒙し、同時に開発する健康食品を併用する活動を実行していきます。同時に開発した健康食品を県内外市場に拡大させて新たな産業を育成することを目指しています。</p> <p>3) 梅酢ポリフェノールの実用化の一つとして、骨そしょう症への応用は、積極的に検討していきたいと考えています。またこの課題に対して、協力して頂ける企業・機関の探索を積極的に進めたいと考えています。</p>
----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------